

## 東日本大震災復興関係

### 大槌町の復興工事の発注業務をURが支援 ～行政のマンパワー不足に対する新たな支援方式の試行実施～

UR都市機構は、復興事業のさらなる加速化を目指し、市町村が行う復興事業への新たな支援「発注者支援方式」の実施に向けた取り組みを開始します。

#### ○発注者支援方式

被災市町村が発注する複数地区の復興工事を大括り化し、特に、技術力と中立性を要する工事発注業務（工事費積算、発注関連図書作成、提案審査等）をURが支援することにより、復興のスピードアップを図るものです。（別紙参照）

#### ○背景

URでは、主に被災市町村の中心市街地の土地区画整理事業等の面整備<sup>(※1)</sup>について、計画策定から工事発注・施工、権利者調整等、事業全体を受託するフルパッケージ型の支援を進めています。

このほかの数多くの復興事業<sup>(※2)</sup>については、全国から派遣されている応援職員の支援を受け被災市町村が自ら実施していますが、被災の大きい市町村では、技術職員の不足により工事発注に支障が生じることが懸念されており、URは国や地方公共団体からこれらに対する支援を求められています。

URでは、これらの要望に効率的に応えるため、被災市町村の工事発注支援を行うもので、以下のとおり岩手県大槌町で試行実施に向けた検討を開始することとしました。

(※1) 12市町村 23地区 1,300ha（予定）

(※2) 防災集団移転促進事業 229地区、土地区画整理事業 57地区など

#### ○「発注者支援方式」試行実施概要(案)

- ・ 検討対象地区： 岩手県大槌町 土地区画整理事業等予定地区
- ・ スケジュール： 平成 25 年 3 月初旬 大槌町-UR都市機構 包括協定  
平成 25 年 4 月頃 大槌町-UR都市機構 業務受委託契約  
平成 25 年 4 月～ 発注者支援業務実施

○お問い合わせは下記へお願いします。

UR都市機構 震災復興支援室 支援調整第2チーム 山下

電話 045-650-0478

技術調査室 都市再生設計チーム 宮本、中道

電話 045-650-0673

# (別紙) 行政のマンパワー不足への対応(発注者支援方式)

- 大規模な中心市街地整備 ⇒ URがフルパッケージで事業受託  
(12市町 23地区 1,300ha(予定)の面整備)
- 小規模な復興事業 ⇒ 多くの工事を市町村が自ら発注

＜課題＞ 市町村の技術者不足により工事発注に支障  
(大槌町都市整備課技術職員:プロパー3名・応援職員28名)

## ◎ 発注者支援方式 (新たな支援方策 [大槌町で試行実施の検討を開始])

